

52-f-2

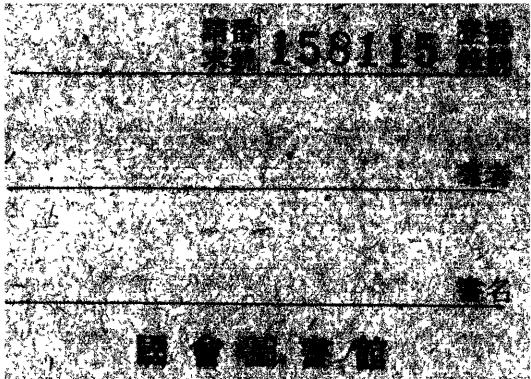
平安南道

大同江
上流地
方系

第貳號土地改良地區計畫書



朝鮮總督府



第二號土地改良地區

一 現 況

1. 位置・地勢土質

位置 本地區ハ平安南道順川郡梧雲面雲峰里馬上里龍沼里元別里初松里江浦里ノ一面六箇里ニ亙ル順川邑ヲ北ニ距ル約一里江河川(假名)沿岸ノ耕地及馬山里ヨリ龍沼里ニ亙ル耕地ヲ包含ス

地勢 地形ハ南北並ニ東西ニ長キ馬蹄形ヲ為シ地區ノ東端龍沼里及ビ南端江浦里ニ於テ大同江ニ面シ他ハ雲頭峰一帯ノ山岳丘陵ニ圍繞セラル地勢一般ニ傾斜稍急ニシテ起伏多ク勾配一定ニガル元別里初松里附近ニ於テハ江浦川ニ向ヒ約百分ノ一乃至百分ノ一ノ急傾斜ヲナシ江浦里ニ

於テハ西南ニ約三百分ノ一馬止里ニ於テハ東ニ約
二百分ノ一ノ傾斜ヲナス龍沼里ノ大同江沿岸ノ耕
地ハ平坦ニシテ南ニ向ヒ約十分ノ一ノ傾斜ヲナス
又元別里新公里江浦里地方ハ一般ニ北ヨリ南ニ約
三百分ノ一ノ傾斜ヲナス其ノ標高八百二十尺ヨリ
二百五尺ニ及ブ

土質 本地方ノ母岩ハ一般ニ大石灰岩層ニシテ所
々ニ陽徳統中硅岩及雲母片岩ノ露出セルモノアル
ヲ見ル土壤ハ表土植質壤土ニシテ深サ六寸心土モ亦
同質ニシテ深サ五尺内外ナリ

口、關係河川ノ地區附近ノ狀況

本地區ニ關係ヲ有スルハ大同江及ヒ其ノ支川タル
江浦川(假名)トス

大同江 大同江ハ其ノ源ヲ平安南道平安北道咸鏡
南道ノ三道界ニ發スル狼林山ノ山麓ニ發シ寧遠德
川ヲ經テ流下シ延長約四十里ニシテ本地區ニ達
シ其ノ東端ヲ南流シ地區ヲ距ル流程約五十七里ニ
シテ黃海ニ注ク

地區附近ニ於ケル本江ハ其ノ勾配二千分ノ一内外
ニシテ河床多クハ砂礫ヨリナリ幅負概ネ二百間内
外ナリ而シテ同江ハ吃水淺キ小舟ノ航行自由ナリ
洪水時ニ際シ其ノ洪水位ハ河床上三十尺内外ニ及
ガモ沿岸耕地地面高キヲ以テ地區内ニ汎濫スルコト

ナシ

江浦川 江浦川ハ其ノ源ヲ順川郡内南面支上里雲頭峰ノ西麓ニ發シ延長約一里ニシテ本地區ニ達シ其ノ南部ノ中央ヲ南流シ地區南端ニ於テ大同江派川ト合シ東南ニ流ルルコト一七町ニシテ大同江ニ注ガ

上流部ハ勾配百分ノ一内外ニシテ河床多クハ砂礫ヨリナリ幅負概テ五間内外ナリ又下流部ハ勾配三百分ノ一河床概テ砂礫ニシテ幅負十五間内外ナリ洪水時ニ際シ洪水位ハ沿岸耕地面ヨリ一二尺低ク爲メニ地區内ニ汎濫スルコトナシ

八面積

計	其 他	田	畝	地 目 面
七七一	九六	五七〇	一〇五 町	積
	本欄八地區所ニ存入セ道路・水路等ノ 集計ナシ			記 事

ニ旱小害ノ状耳

旱害 本地區ノ畠ハ確固タル用水源ヲ有セズ其ノ用水ハ殆ンド天水ニ俟ツノ外ナク被害ノ程度ハ降水ノ分布如何ニ依リテ著シキ差異アルベキモ各年ノ平均減收ハ約ニ割三分内外ナリ

水害 水害トシテ特記スベキコトナシ

左ニ旱害ニ依ル減收率ヲ示セバ次ノ如シ

面名	反當收量		減收率	面積	平均總收量	平年總收量
	平均	平年				
梧雲面	二〇 畝	二六 石	〇・六	三三 畝	一〇五・〇 町	二一〇・〇 石
						二七三・〇 石

平均反當收量 二〇石

平均平年收量 二六石

減收量 〇・六石

藏

六

率

二割三分強

木、農業狀態

(一) 土地利用ノ狀況

田	畝	地目	
		一	二
四九〇	一〇五	面積	面積
陸稻	水稻	種類	種類
大豆	一〇五	面積	面積
蜀黍	二〇	面積	面積
一〇〇	二〇	面積	面積
二四五	二〇	面積	面積
二七八	二〇	面積	面積
一六七	二〇	面積	面積
八〇	一	面積	面積
夏作	冬作	種類	種類
小豆	小麥	面積	面積
一〇	五〇	面積	面積
七〇	五〇	面積	面積
〇七五	五〇	面積	面積
〇三八	五〇	面積	面積
上質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ		土質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ	
播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ		播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ	
直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、		直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、	
肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内		肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内	
外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行		外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行	
フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産		フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産	
良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス		良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス	
上質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ		土質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ	
播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ		播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ	
直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、		直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、	
肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内		肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内	
外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行		外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行	
フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産		フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産	
良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス		良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス	
上質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ		土質、八植、質、壤、土、地、中、南、ナリ	
播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ		播種期、八、五、月、上、旬、ニ、シ、テ、本、當、ニ	
直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、		直、播、又、收、獲、十、月、中、旬、以、下、	
肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内		肥料、八、及、當、年、肥、百、五、十、其、内	
外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行		外、ヲ、施、シ、除、其、十、八、五、四、回、之、ヲ、行	
フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産		フ、稻、ノ、種、類、八、在、本、地、中、所、産	
良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス		良、九、大、郎、黒、大、郎、等、ト、ス	

へ、農業勞力過不足ノ狀況

本地方一方里當リ農家戸數ハ二百二十一戸ニシテ
農家一戸當リ耕作及別ハ畝一反一畝步田二町三反
五畝步計二町四反六畝步ニシテ又平安南道平均ハ
畝三反七畝步田一町九反三畝步計二町三反步ナリ
而シテ本地方ハ副業トシ機業吟養蠶等行ハルルト
雖モ現今ノ粗放ナル耕種法其ノ他ニ鑑ミ農業勞力
ニハ尙相當ノ餘裕アルモノト認ム

二計 畫

イ. 一般計畫

總說

本計畫ハ江浦川沿岸一帯ノ耕地及ビ馬土里ヨリ龍沼里ニ亘ル耕地ノ内用水不足セル畠百町歩ノ旱魃ヲ救済シ田五百五十町歩ノ地目變換ヲ行ヒ以テ其ノ土地ノ利用ヲ増進セムトス而シテ叙上ノ目的ヲ達スル爲メ全畫セル概要ヲ述フレバ次ノ如シ

灌溉計畫

本地區ノ畠ハ旱害ノ狀況ニ於テ述ベタル如ク確固タル用水源ヲ有セズ殆シド天水ニ俟ツノ外ナク年々用水ノ不足ヲ訴フル狀況ナルヲ以テ畠百町歩地

目變換地五百五十町步計六百五十町步ニ對シ一其
ノ用水ヲ貯水池及ビ大同江ニ求ムルコト、シ貯水
池ハ内南面支上里ノ山間ニ其ノ内容積三百九町尺
ヲ有スル支上池ヲ新設シ其ノ集水區域七百町步ノ
流水ヲ貯水シ第一號及ビ第二號用水幹線ニ導ク即
チ第一號用水幹線ハ貯水池隨處ヨリ東走シテ江浦
川ヲ伏越シ地區北方ノ高位部ヲ更ニ進ミ第三號用
水幹線ニ達ス其ノ延長九百三十間灌溉面積百三十
町步ナリ

第二號用水幹線ハ地區西側山麓ヲ南走シ内南面支
下里龍峰站(舊名)ニ於テ溪流ニ達ス其ノ延長千七百
間灌溉面積五十五町步ナリ
又大同江畔梧雲面雲峰里渡船場下方ニ揚水機(ポン

20 吋ニ台重油機關百二十馬力ニ臺）ヲ設置シ同江
ノ流水ヲ導水路延長三十間ニヨリ吸水槽ニ取入レ
之ヲ揚水シテ第三號用水幹線ニ導キ全幹線ヨリハ
更ニ第四號及第五號用水幹線ヲ分岐ス第三號用水
幹線ハ揚水場ヲ出テ南方山岳ヲ隧道ニテ通ジ雲峰
里西南山麓ヲ迂迴東走スルコト凡百間餘ニシテ雲
峰里南方ノ丘陵ヲ越テ第四號用水幹線ヲ分岐シ西
南ニ走ルコト千間餘ニシテ江浦川ヲ潛管ニテ横斷
シ南走スルコト四百間餘ノ地點ニ於テ第五號用水
幹線ヲ分岐シ更ニ南走シ送君里（舊名）ニ至リ溪流ヲ
潛管ニテ横斷シ東南ニ折レテ初松里ニ至リ溪流ニ
放水ス其ノ延長四千間灌漑面積百十五町歩ナリ
第四號用水幹線ハ馬上里ニ於テ第三號用水幹線ヲ

リ分岐シ北歩高位部ヲ東定シ龍沼里ニ至リ大同江ニ放水スルモノニシテ其ノ延長二千二百六十間灌溉面積百九十二町歩ナリ

第五號用水幹線ハ第三號用水幹線ヨリ分岐シ江浦川ヲ横断シ全川左岸高位部ヲ東南ニ走リ吳村(舊名ニ於テ東ニ折レ江浦里ニ至リ大同江派川ニ放水ス其ノ延長二千三百四十間ニシテ灌溉面積百五十八町歩ナリ

次ニ参考ノ為メ本事業施行前後ニ於ケル土地ノ地目別計畫豫定面積ヲ表示スレバ左ノ如シ

事業施行前地目別面積		事業施行後計畫豫定面積		備考
地目	面積	灌溉改善開	畝其ノ他	
畝	一〇五町	一〇〇町	一町	五町

以灌溉計畫

(一) 用水量

用水量ノ種別	數	算	法	記
耕作整地用	〇・三三			土質ハ植質壤土ニシテ地下水中心ナリ
生育期間ニ於ケル平均所要量	〇・〇二五	葉水面蒸發量 〇・〇二七 降雨量 〇・〇一五 有效雨量 〇・〇一七	時日ニテ算ス	葉水面蒸發量ハ蒸發計ノ示ス蒸發量四八・二〇一耗ノ六四倍トス 有效雨量ハ稲作期間降雨量五五・六七耗ノ六八倍トス
最大用水量	〇・〇四八	葉水面蒸發量 〇・〇三三 降雨量 〇・〇一五 有效雨量 〇・〇一八	新舊ノ旧由ニテ算ス	最大用水時期ニ於ケル葉水面蒸發量八月一日ヨリ八月二十日ニ至ル二十日間ノ蒸發計ノ示ス蒸發量一〇八・二耗ノ七四五倍トス

備考

ハ計算ニ用ヒタル蒸發量及ビ降水量ハ自大正十四年十ヶ年間平壤測候所ノ觀測ノ平均

ト
入

(二) 用水源

貯水池

(其ノ二)

貯水池名	支上池
貯水池位置	順天郡内南面支上里
集水面積	七〇〇 町
満水面積	三三三 町
一回貯水量	三〇九 町
灌溉能力	一八五 町
記 事	最大水深四十二尺平均水深九尺四寸 本集水區域ハ林野約七割耕地約三割ニシテ林野ハ傾斜比較的急ナルモ荒廢セル部分ナシ

(其ノ二)

貯水池名		堤脚	構造	大井	樋管大井	餘水吐大井	溢流	記	事
支上池	土堤堤	又	堤長	天巾	又	又	又	堤ハ土堤堤身長五二四芝ヲ施シ内法三八波止大石積テ石ヲ施シ粘土雜金ヲ積リ又 雙樋ハ鉄管トシ三ヶ所ノ内ハイヌバシアルヲ備ヘ炭樋ハ鉄筋コシタリト造トス 今水ハハ九割山麓ノ岩管ヲ堀發シ鑛石積又ハ鑛石張テ施スモノトス 放水路余水吐ヨリ一五〇間ノ下流ニ放テ流流ニ放流セシムモノトシ全部急傾斜ナリ以テ植植護岸又ハ護束工ヲ施スコトトセリ	又
	四九	又	堤長	又	又	又	又		
	一三〇	又	又	又	又	又	又		
	一八	又	又	又	又	又	又		
	六五	又	又	又	又	又	又		
	三七九二	又	又	又	又	又	又		
	上端 五半間	又	又	又	又	又	又		
	七〇	又	又	又	又	又	又		
	九九〇	又	又	又	又	又	又		
	三〇	又	又	又	又	又	又		

2. 揚水機 (其ノ一)

用水場ノ位置	用水汲揚河川 又ハ通名	揚水量	灌漑能力	記
梧雲山雲峰 三 地 先	大同江	秒立方 二六八	四六五 町	本揚水機ノ吸揚水ハ大同江ヨリ二六八秒立方 方々導キ來リ用水源ニ充ツルモノトス揚 水量ハ最大揚水量ヲ記載セリ

事

(其ノ二)

揚水場ノ位置	招雲面	雲峰下里
揚水機ノ種類	セントル	ビエラ
揚水機ノ大細	二丁	二臺
揚程	三八〇	重油機
原動機ノ種類	一丁	二臺
原動機ノ大細	大同江本揚水場ノ上流無蓋ノ近	大同江本揚水場ノ上流無蓋ノ近
記	大同江本揚水場ノ上流無蓋ノ近	
事	大同江本揚水場ノ上流無蓋ノ近	

(三) 用水路

用水幹線	第一號	第二號	第三號
延長	九三〇 間	一七〇〇	九二〇
断面	底幅 三〇 側法 一五	底幅 六〇 側法 一五	底幅 五〇 側法 一五
勾配	1/200	1/3000	1/3000
支配	一三〇 町	五五	四六五
通水量	七五 升	三二	二六八
種類	外二落差五落差五尺モノ 急流二 分水門	流入兼余水吐 上橋田六ノモノ 四尺モノ	暗渠 C 四〇
管径	A 四〇 四至一五 尺	九〇	四〇
構造	鉄筋コンクリート造 コンクリート造 コンクリート造 コンクリート造 大木に架す	コンクリート造 コンクリート造 コンクリート造 コンクリート造 コンクリート造	鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造
延長	一〇〇〇 間	一〇〇	

第五號 用水幹線									
二三四 水 一五									
底巾 三〇									
側法 一五									
1 1,200									
一五八									
九									
外落差五呎五寸	暗渠	全上	管	井	全上	滑管	全上	滑管	全上
三又五ノ四尺三寸	六寸	三寸	四寸	一〇寸	三寸	一〇寸	三寸	一〇寸	三寸
各一ヶ所	鐵筋コンクリート造	全上	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	全上	木造	全上	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造
流入管全小径	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
流入二	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
三橋巾九又三ノ四尺三寸	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
一八〇〇									

八. 地目變換ノ計畫

(一) 標準區劃ノ大サ形狀

地目變換地ハ概ネ在來區劃ニ據ラシムルニ越テ土
質ニ鑑ミ其ノ一區劃ヲ長邊三十間短邊十間面積一
反歩ノ矩形トセリ

二) 道水路配置方法

梧雲面馬上、龍沼兩里ノ地目變換地ニ於テハ東西ニ走レル第四號用水幹線ヨリ南北ノ方向ニ各畝區ノ短邊ニ沿ハシメ畝毎ニ用惡兼用水路ヲ配置シ巾六尺乃至四尺ノ農道ヲ其ノ一側ニ沿ハシメ全面雲峰里、元別里ノ一部ノ全地ニ對シテハ東西ニ走レル第一號用水幹線ヨリ南北ノ方向ニ又元別里、初松里ノ全地、南北ニ走レル第二號、第三號用水幹線ヨリ東西ノ方向ニ尚元別里ノ一部、江浦里ノ全地ハ東西ニ走レル第五號用水幹線ヨリ南北ノ方向ニ叙上ト同様道路水路ヲ配置セリ

二、事業年度割

本事業ハ之ヲ三ヶ年間に完了スル計畫ニシテ其ノ
年度割ヲ次ノ如ク定メタリ

事業年度	事業ノ種類	用面面積	備考
第一年度	一、揚水機ノ設置 二、貯水池ノ築造 三、用水路ノ敷設及分道竣工	一	
第二年度	一、用水路ノ敷設完了 二、地質調査地均	三〇	
第三年度	一、地質調査地均	二五	

木事業費

總事業費六拾壹萬九千五百圓也 (及當平均九五.三.強)

費目	金額	記
一二事費	五三六、四〇〇 円	
(一) 用水費	三四三、四〇〇	
人貯水池費	一三一、三〇〇	支上池 應理費 九〇、一〇〇円 顧管費 一三、五〇〇円 餘水吐及 放水路 費 二八、〇〇〇円 雜費 七〇〇円
2. 揚水機費	九五、〇〇〇	揚水機 唧筒及機油其他附屬品 七三、〇〇〇円 一切ノ購入並提付費 五、〇〇〇円 揚水場地均及基礎工費 三、二〇〇円 揚水場上家及倉庫舍宅等一切ノ建設費 三、〇〇〇円 吸水及送水設備費 八、三〇〇円 導水路費 二、五〇〇円 雜費

了幹線水路費			五九六八〇月 延長一、二、三〇間		
一〇五・一〇〇			土工費、 八四〇〇月 一ヶ所 潛管費、 一三六五〇月 七ヶ所 掛繩費、 二一〇〇月 二ヶ所 暗渠費、 四七〇〇月 五ヶ所 分岐費、 二〇〇〇月 三ヶ所 流込費、 四五五〇月 六ヶ所 流入工費、 四五〇月 四ヶ所 溝差工費、 二二五〇月 一ヶ所 急流工費、 三〇〇月 一ヶ所 橋梁費、 四一九〇月 三ヶ所 雜費、 三八三〇月		
主要支線費			土工費、 六三〇〇月 延長七、〇〇〇間 構造費、 五七〇〇月		
地質交換費			面積、五五〇町		
(三) 雜工費			道路付替費、 八〇〇月 延長一、一〇〇間 暗渠費、 二五〇月 一ヶ所 橋梁費、 七五〇月 三ヶ所		
(四) 用地費			貯水池敷、 面積、三三二町 道路水路敷、 全、二八二町		
(五) 雜費			家主移轉補償、 戶數一九戸		

六、統計及工事監督費	五七、五〇〇	
二、事務費	二六、八〇〇	
三、豫備費	五六、三〇〇	
計	六一九、五〇〇	

へ、收益豫想

其ノ一 既墾地ノ土地改良ニ依ル收益

地目	面積	積反當增收	總增收高	記
畝	一〇〇 町	〇 石	六〇 石	土地改良施行前反當 一〇〇石 土地改良施行後反當 一六〇石ノ見込

事

其ノ二 地目變換ニ依ル收益

年次 區別	第一區		第二區		計
	面積	收穫高	面積	收穫高	
第三年 畝	三〇〇 畝	一八 石	三〇〇 畝	五四〇〇 石	三〇〇 畝 五四〇〇 石
第四年 畝	三〇〇	二二 石	二五〇 畝	一八 石	五五〇 畝 一一、一〇〇
第五年 畝	三〇〇	二六 石	二五〇	二五 石	五三一 畝 一三、三〇〇
第六年 畝	三〇〇	二六 石	二五〇	二六 石	五三一 畝 一四、三〇〇
					記
					事

本事業完成前後ノ收益ハ左表ノ如クニシテ事業未施行前六萬七百四十六圓事業施行後十二萬九千圓差引收益増加八十萬八千二百五十四圓十ナリ之ヲ總事業費六十一萬九千五百圓ニ對比セバ一割七分強ニ相當セリ

- 33 -

ノ
シ
天、土地改良ノ施行力、隣接地ニ及、其ノ影響

大同江水系上流地方第二號土地改良地區平面圖

縮二尺萬五千分之一

